ご報告

8月のお盆法要、9月のお彼岸法要

無事に勤まりました。たくさんの方がお参りくださいました。ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました。

合唱

毎月2回、楽しく歌っています。一緒に歌ってみたい方、一度だけでもお待ちしています！

正信偈を読む！会

仏教の勉強会は月に1回、最終木曜日！いろんな方がご参加くださっています！初心者も大丈夫！

正覚寺日誌

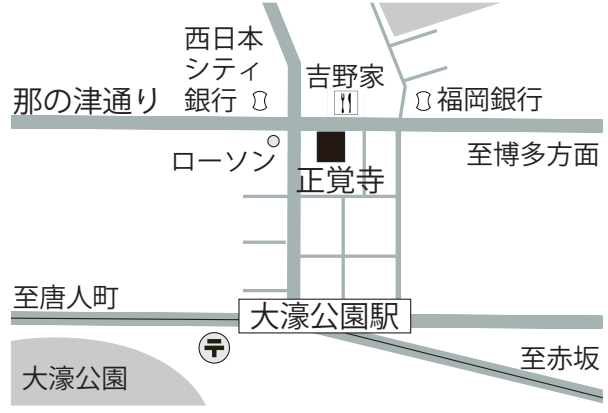
日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて先日、住職の鹿児島の実家から大量の絵本が届きました。本堂横のお寺の本棚コーナーに並べます。貸し出しもできますので、どうぞお気軽にご利用ください！

そして今年も報恩講がやってきます。このたびの講師は、住職の学生時代の恩師です。学識豊かで、とても温かいご法話をくださる先生です。お一人でも多くお参りくださると嬉しいです！！みなさまとご一緒にお聴聞できることを楽しみにしています。

Access

地下鉄「大濠公園駅」より徒歩5分
西鉄バス「港二丁目」より徒歩1分



浄土真宗本願寺派
海見山 正覚寺

〒810-0074
福岡市中央区大手門3-7-19
Tel　092-751-7074
Mail　syougakuji1640@yahoo.co.jp
Web　www.syougakuji.com

正覚寺寺報『amrta』vol.6　2018年10月発行　文章・イラスト：賞雅曜哲　デザイン・文章：賞雅裕子

amṛta
アムリタ

正覚寺寺報 vol.6
- 住職コラム「悲しみを悲しみで終わらせない。」
- 2018年11月正覚寺スケジュール

住職コラム

悲しみを悲しみで終わらせない。

私の祖父は浄土真宗の僧侶でした。大阪の茨木市の出身で、28歳で鹿児島の田舎のお寺に入寺しました。63年間の生涯を浄土真宗の布教に捧げました。

ある時、祖父のお寺に、若い夫婦が泣きはらした様子でお参りに来られたことがありました。自分たちの子どもが水難事故で夭逝してしまったということでした。「息子はどこに行ったのでしょうか？」と問う夫婦に、祖父は「どんな世界に行っておられるかは私には分かりません。分かるのは仏様だけでしょう。しかし、どんな世界に行っていても、仏様のお慈悲の光は彼の上にも必ず注がれ続けています。彼がどこに行ったかよりも、あなたたち自身が子どもの死をどう受け止めるか、それこそが本当に大切な問題ではないですか？」と返しました。そして「一年でいいから、真剣に親鸞聖人の示された阿弥陀様の教えを聞いてみませんか？」と強く勧めました。

それからそのご夫婦は、様々なお寺の法座に足繁く通い、浄土真宗の教えに触れてゆかれました。阿弥陀様は、苦悩に満ち溢れた人生につまづく私たちを、決して見放すことなく、慈愛の眼差しで包み受け止めてくださいます。南無阿弥陀仏のお念仏一つで、私たちは命終えて後、最高の悟りの世界であるお浄土に迎えとっていただくのです。ご夫婦は、そんな阿弥陀さまの救いの法を聞き抜き、仏様のお慈悲を喜ぶ身になってゆかれました。私の祖父に「本当に厳しいご縁でしたが、今はあの子がお浄土から私たちを導いてくれたように感じられてなりません」と言われたそうです。

和泉式部（いずみしきぶ）が、自分の子に先立たれたことを「夢の世を　あだにはかなき身をしれと　教えて帰る子は知識なり」と、歌にしています。ここでの「知識」とは、私を真実に目覚めさせてくれる方という意味です。そのご夫婦も和泉式部も、厳しいご縁のなかで、仏様の教えに出会い、人生の真実の姿に目覚めてゆかれました。愛しい人との別れがただの苦しみではなくなったのです。先立たれた愛しい人を仏様と仰ぐ心の目が開かれていきました。

愛しい人との別離以外にも、恐ろしく多くの苦難が不意に襲ってくるのが人生です。コンクリートブロックで思いっきり頭をガツンと殴られるような経験というのが人生にはしばしばあります。私自身33年間生きてきての実感です。私より長いこと生きている方は間違いなくもっと多くの苦難に出会って来られたんじゃないかと思います。

仏教の素晴らしいところは、信仰が単なる癒しではないことです。教えを聞いて行く中に、厳しいご縁が、私を真実に目覚めさせ、仏様のお慈悲を喜ぶ身へと育てる機会に転じられていくことにあります。苦難の連続にあっても、人生を悲嘆に終わらせないことにあります。これが仏様の教えのはたらきです。（賞雅曜哲）

正覚寺スケジュール

ご門徒のみなさんもそうでない方も！
申し込み不要です。

お寺は毎日9:00-17:00に開いています。ぜひいつでも、お気楽にお立ち寄りください。

11月

1日｜木｜　10:00-11:00 合唱

年齢・性別・経験など一切問いません。一緒に歌を歌ってみましょう。
参加費：300円（楽譜・空調代として）

8日｜木｜　10:30-12:00 おみがき

仏具の専門の方に教えていただきながら、報恩講に向けて、本堂の仏具を磨きます。どなたもお気軽にご参加ください。

8日｜木｜　13:00-16:00 詩吟と折り紙の会

婦人会の方がご指導くださいます。
参加費：300円

10-11日｜土-日｜　13:30-15:30 報恩講（ほうおんこう）

親鸞聖人のお徳をみなさまとしのぶ浄土真宗のお寺の最も大切な法要です。今年は住職の恩師である藤澤先生を滋賀よりお招きします。どなたもぜひお参りください。
法話：藤澤信照師
（行信教校講師／本願寺派布教使／滋賀・浄光寺住職）

15日｜木｜　10:00-11:00 合唱

内容は11月1日をご覧ください。

29日｜木｜　13:30-15:00 正信偈（しょうしんげ）を読む！

親鸞聖人の正信偈を、住職と少しずつ読み進めます。ものすっごい有り難いです。一度だけの方もはじめての方も大歓迎です！
参加費：500円
持ち物：お念珠・聖典（お持ちであれば）

12月

お電話もしくは正覚寺ウェブサイトでご確認ください。